



提出 令和7年5月28日

一般質問通告書

☐一括方式

☒一問一答方式

質問

順番

4

東海村議会議長 河野 健一 様

議席番号 10 番 議員氏名 笹嶋 士郎

質問事項 (件名)	村の財政対策について	答弁者 担当部長
要旨（具体的に） 昨年の12月議会で村の財政について、年収「103万円の壁」引上げやふるさと納税の減収による収支の赤字拡大を話題にして質問をした。 ところが、そんなことが比較にならないほどの財政問題が、令和7年度予算において出てきた。 以下2点伺う。 1. 村は、令和7年度の超積極予算をどう評価するのか、また来年度の予算編成についての考えを伺う。 2. 村の財政調整基金は令和4年時点で約80億円であったものが、令和7年度予算に繰り入れると約40億円程度になる。一般会計の基金総額はいくらか。 【資料請求】令和7年度末の一般会計の基金の残高見込み		

質問事項 (件名)	原電線から久慈川間の地区計画について	答弁者 担当部長
要旨（具体的に） 令和6年9月に質問した第6次総合計画に代わる新たな計画「まちづくりの羅針盤」が、令和7年度からスタートした。今回の内容は、「新たなにぎわいを生み出す都市基盤のデザインとまちなみの整備」のビジョンをもって、必要なハード整備にも取り組むこととしている。 しかし、どう見ても原電線から久慈川間の地区計画のハード整備が見当たらない。どこに書かれているのか伺う。 また、村のまちづくりの事業の中で、過去10年駅東・駅西の区画整理でハード整備に費やした総額はいくらなのか。原電線から久慈川間の地区のハード整備に費やした総額はいくらなのか伺う。		

質問事項 (件名)	村職員の健康管理について	答弁者 担当部長
よく「村の財産は、職員である。」という言葉を聞く。戦国大名の武田信玄は、「人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵」と言っている。どの時代でも仕事をするのは人であり、人を大事にすることは誰もが疑うことのないものである。 しかし、実態は情けもないし、敵ばかりで孤立し、メンタルから身体も駄目になり、退職する村職員が多いと聞く。この負の連鎖を断ち切らなければならないと思うが、どのような対策を行っているか伺う。		

質問事項 (件名)		答弁者